



より良い医療の成果を 目指したケアの近代化

遠隔医療とエッジAIにより、よりスマートで迅速な患者ケアを可能にするイノベーションの新時代が推進されます。

Caregility: あらゆる場所でケアをつなぐ

エンタープライズ遠隔医療、遠隔診療、インテグレーションバーチャルケア...様々な呼び方がありますが、今日、それはすべて近代的な医療提供の一部となっています。遠隔医療は、より迅速でスマートな患者ケアを可能にするために、ベッドサイドチーム、遠隔支援、そしてAIを結びつけ、共同ケアの革新の新たな時代を推進しています。

AIと遠隔リソースを継続してケアモデルにインテグレーションすることにより、医療システムは新しいコラボレーションツールをスタッフに提供し、変化する患者の期待に応え、将来を見据えたケアにも備えています。このようなケアの変革は、患者と医療提供者の両者にメリットのある、より効果的で思いやりのある医療システムを作り出しています。

患者と医療提供者のメリット

患者の転帰の改善

- ケアの過程を通じて患者と家族介護者に権限を与え、情報を提供し、さらに関与できるようになります。
- 患者の安全性とカバー範囲を向上させるために、労働力増幅効果を導入します。
- 患者との対話中でも、高度な意思決定支援や臨床デバイスにシームレスにアクセスできるようになります。
- 患者の悪化の兆候を早期に特定し、より迅速な対応を可能にします。
- ケアへの地理的障壁をなくす仕組みにより、患者へのアクセスが改善されます。
- バーチャル通訳を導入することにより、患者に公平な医療を提供します。

臨床プロセスの近代化

- 医療システム内外の登録臨床医間のコラボレーションが可能になります。
- 経験の浅いスタッフをサポートするために、リモートの専門家を導入します。
- 離職または退職する可能性のあるベテラン看護師を確保するために、遠隔ケアの役割を拡大します。
- 遠隔地の臨床支援リソースに業務を再分配することで、スタッフの燃え尽き症候群を軽減します。
- EHRやその他のインテグレーションシステムに直接接続することにより、臨床医が本来の診療に集中することができます。

卓越した医療業務の推進

- HCAHPSスコアに反映される患者体験の向上が見込まれます。
- 有害事象、再入院、患者の在院期間の短縮につながります。
- AIに対応した遠隔医療用のエッジデバイスにより、ケアの継続的な革新を可能にします。
- 共同ケアプログラムとデバイスを一元管理し、遠隔管理します。
- テクノロジーに精通した患者、臨床医、パートナーを結び付け、組織を際立たせたものにします。



Caregility Cloud™ - 1つの基盤プラットフォームによる無限の可能性

Caregilityでは、医療機関が遠隔医療やAIをケアの現場でシームレスに拡張できるようサポートし、ベッドサイドチームを強化し、効率を高め、患者の安全性、コミュニケーション、体験を向上させます。

将来を見据えて開発されたCaregilityクラウドは、バーチャル看護プログラムを1つの柔軟なプラットフォーム上に集約し、強力で信頼性があり、HIPAA準拠、かつAI対応のシステムです。Caregilityクラウドは、3年連続でKLASのベストバーチャル看護プラットフォーム(非EMR部門)に選ばれており、経験豊富な臨床医や医療技術の専門家によって設計され、病院のベッドサイドから患者の自宅まで、すべてのケア設定においてケアを強化する遠隔医療サービスを提供します。

私たちがお手伝いする分野



ERおよびICU



急性期および急性期後



外来および在宅

共同ケアによる臨床変革

Caregilityクラウドプラットフォームは、インテリジェントなケアアプリケーション、病院グレードの遠隔医療用専用エッジデバイス、それらのシームレスなインテグレーション、そして最先端のAI機能を組み合わせることにより、各患者のベッドサイドで双方向のビデオ対応による患者と医療従事者の交流を実現します。これにより、スタッフは遠隔臨床支援とAI機能をあらゆる臨床ワークフローに取り入れることができ、ケアモデルを継続的なイノベーションとあらゆる面をサポートする新たな時代へと変革し、以下をサポートします：

- 遠隔看護
- 遠隔ICU
- バーチャル訪問
- 脳卒中遠隔医療
- 在宅治療/遠隔モニタリング
- 多職種回診
- 継続的な患者観察/付き添い
- 緊急/トリアージサービス
- 専門医の診察
- ホスピス/緩和ケア訪問
- 行動保健学
- その他多数のプログラム

共同ケアプログラム

バーチャル観察

リスクのある患者を継続的に観察し、臨床介入の迅速性を高めます。

- ・ 転倒や徘徊などのリスクに備え、患者の病室での活動を監視します。
- ・ 「第二の目」でスタッフの安全を確保します。
- ・ 1対1の病室内付き添いに代わる費用対効果の高い方法です。

遠隔看護

リモートチームとベッドサイドチーム間のケアに関するコミュニケーション、リソース、タスクを簡素化します。

- ・ デバイスや通訳を探したり、サポートを要請する時間をなくします。
- ・ ベッドサイドでの指導、コーチング、トレーニングをジャストインタイムで提供します。
- ・ 双方向の音声/ビデオ通話により、患者、家族、ベッドサイドのケアチームとの関係を構築します。
- ・ 患者の安全とサポートのための「副操縦士」を提供します。

入院患者のバーチャル交流

どのベッドサイドにも、患者、ケアチーム、通訳、家族を集めることが可能です。

- ・ 患者がケアチーム、家族、通訳とバーチャルアクセスできるようにします。
- ・ 退院時だけでなく、毎日情報を共有することで、退院までのプロセスを改善します。
- ・ 患者の転帰を改善するために、ケア後の計画に患者家族も参加してもらいます。

バーチャル訪問と診察

在宅患者とのバーチャル訪問や、急性期後ケアにおける臨床支援をサポートします。

- ・ 地理的な障害に関係なく、患者のアクセスを確保します。
- ・ 多職種ケアを地方、コミュニティ、家庭にまで拡大します。
- ・ 在宅医療、急性期後の施設、クリニックなどとのバーチャル診察が簡単に実施できます。



実例

- ・ バーチャル観察で年間170万ドルのコスト削減になりました。
- ・ 2021年から2024年にかけて、急性期の遠隔医療利用が20倍に増加しました。
- ・ バーチャル看護で患者満足度が20%向上しました。
- ・ バーチャル入退院のたびに、ベッドサイドの正看護師に45分の時間が還元されました。
- ・ 患者の退院までの時間が9.5%短縮されました。



私たちは新しい入院施設を建設中ですが、すべてのベッドにはCaregilityの技術が繋がれることとなります。面白いことに、病院の幹部はハイブリッドケアの重要性と人員配置の需要のバランスを理解しているので、簡単に売り込むことができました。私は、ハイブリッドケアが新しい標準になると考えています。

-大手医療システムにおけるイノベーション担当ディレクター



私たちのサポートについて

スマートプログラムとリモートフリート管理を行います。

当社初の管理ポータルでは、遠隔医療の孤立性をなくし、プログラムとデバイス群の管理を簡素化する単一の多用途プラットフォーム上で共同ケア業務を一元化したものとなっています。

管理: 当社のクラウドベースのシステムでは、自己修復デバイスと遠隔トラブルシューティング機能により、能動的な遠隔医療デバイス群のモニタリングをサポートし、問題が発生する前に問題を特定して対処することをサポートしています。

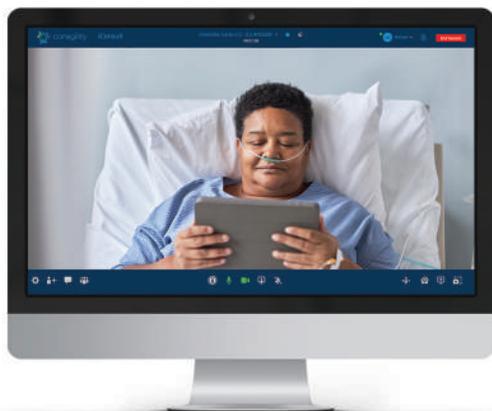
分析: 場所、デバイスの種類、エンドユーザー別に共同ケアプログラムのパフォーマンスを評価します。患者介入と臨床応答時間に関するデータを分析し、プログラムの最適な取り組みのために情報を提供します。

レポート作成: ユーザー、施設、診療単位、デバイス、期間、アラートタイプなどによる資料状況データのフィルタリングと傾向分析を行います。これにより、マネージャーは、プログラムの採用、関与、多忙期でのスタッフ配置、通話の切断/放棄、およびプログラム全体の有効性を評価できるようになります。データは顧客自身のデータウェアハウスにエクスポート可能です。

臨床情報に基づいたアプリケーション

当社の直感的なソフトウェアは、臨床医のために臨床医とともに構築され、1対1および1対多の患者と臨床医の関わりをサポートしています。複数の患者を観察するセッションから、患者のニーズに介入したり、ベッドサイドのスタッフをサポートするための独立した診察に簡単に移行可能です。患者の家族や言語通訳を通話に参加させ、ケアプランの作成をサポートします - アプリのダウンロードは不要です。セッションが終了すると消える安全なバーチャルルームに、ワンクリックでSMSやEメールで招待状を送信します。

iConsultアプリケーション



特化した患者訪問

ワンクリックアクセスで、患者と個別に安全に相談したり、ケアチーム、遠隔地の専門家、通訳者、家族と協力することが可能になります。

使用例: 遠隔ICU、遠隔脳卒中、遠隔看護、多職種回診、専門家による診察

iObserverアプリケーション



1対多数の継続的な患者観察

バーチャル観察者と看護師は、1つのウィンドウで最大16人の患者を同時に観察して多人数に対応し、対応範囲を広げ、患者の安全に関する取り組みをサポートすることができます。

使用例: バーチャル付き添い、遠隔看護、バーチャル行動保健学

インテリジェント遠隔医療デバイス

当社のインテリジェントな遠隔医療デバイスは、エッジ処理を特徴とし、さまざまな患者の急性期設定をサポートしています。すべてのCaregilityデバイスは、高い信頼性によって、患者ケアの中断を最小限に抑えるために、自己修復機能を備え、積極的に監視され、リモートで管理されています。

適応性: 当社のAI対応デュアルカメラ遠隔医療エッジデバイスは、複数のバーチャルケアワークフローを同時にサポートし、病室のモニターやインタラクティブ患者コンソールとインテグレーションすることにより、コストとフットホールへの影響を最小限に抑えます。

マウント型: 遠隔医療システムを有線接続し、究極の信頼性を確保します。

モバイル型: モバイルカートを採用することで、必要な場所で柔軟に遠隔医療を活用できます。

登録済みスマートデバイス: デバイス差にとられない当社のプラットフォームではタブレットやレガシーシステムを登録し、リソースを最大限に活用することができます。

コネクテッドケアエコシステム

Caregilityクラウドコネクテッドエコシステムには、大手テクノロジーイノベーターから臨床サービスプロバイダーまで、幅広い遠隔医療インテグレーションパートナーが含まれています。これらのソリューションを組み合わせることで、患者や臨床医の体験、健康成果、そして医療全体にわたる業務効率の向上をサポートしています。

EHRインテグレーション: Caregilityクラウドは、Oracle Health (Cerner) などの他のEHRとのAPIベースのインテグレーションに加え、複数のEpicモジュールとの密接なインテグレーションを提供しており、臨床チームは慣れ親しんだ環境で作業することができます。

インタラクティブ患者コンソール (IPC): IPCのインテグレーションにより、ソリューションの乱立を抑え、患者室の技術を一元化します。

臨床意思決定支援 (CDS): CDSリソースを共同ケアセッションとインテグレーションし、臨床的洞察を高めます。

コネクテッドケアデバイス: Bluetooth聴診器、検査カメラ、耳鏡などのデジタル医療デバイスのインテグレーションにより、ケアチームが遠隔で行える業務を増やすことにつながります。

通訳サービス: ビデオ通話によるバーチャル遠隔通訳サービスで、患者の健康の公平性と言語アクセスをサポートします。

臨床サービス・プロバイダー: 外部の臨床サポートを導入することにより、患者急増時のスタッフ確保の問題を補うことが可能です。



遠隔医療用エッジデバイスの主な特徴

- 広角5倍ビューと最大40倍ズーム
- 同時ワークフロー用のマルチストリーム
- ビーミングスピーカー/マイクアレイ
- 赤外線ライトバーによるナイトビジョン
- ベッドサイドのインテグレーションアラートボタン
- 遠隔カメラおよびオーディオコントロール
- カメラ位置のブックマーク
- コンテンツと画面共有
- 壁面システムやカートにアクセスするための臨床医モバイルアプリ
- GPU内蔵AI対応エッジコンピューティング (一部モデル)



責任ある医療AI

臨床的洞察を強化し、複数の場所や臨床業務にわたって拡張可能なAIツールを導入しています。当社の適応性の高いプラットフォームにより、AIテクノロジーを病室の遠隔医療エッジデバイスで完全に実行することができ、患者の音声/映像データをクラウドにストリーミングする必要がなくなります。また、クラウドベースのサードパーティのAI機能とのインテグレーションもサポートしています。

拡張観察: 当社のネイティブコンピュータビジョンAIは、視覚情報を分析して患者の転倒リスクを検出し、それに応じて介護者にアラートを発します。

バイタルトレンドニング: 患者1人につき1日あたり数千のバイタルサインを非接触で収集、傾向分析、モニタリングします。

バイタルスキャン: 経皮スキャンAIの強化により、バーチャル訪問時に患者の血圧、心拍数、呼吸数を遠隔評価します。

アンビエントリスニング: 病室の音響を遠隔監視し、患者やスタッフの苦痛の問題やデバイスのアラームを検出します。

アンビエントドキュメンテーション: アンビエントリスニングにより、医療提供者や臨床医によるメモや口頭メモを簡単にキャプチャし、文書化する時間を簡素化します。

プロフェッショナルサービス

当社のコンサルティングプロフェッショナルサービスは、臨床および技術エキスパートとつながり、85を超える主要な医療システムでの実務経験を持つ専門家たちと共に、バーチャルケアコマンドセンターや遠隔医療プログラムを立ち上げ、患者や臨床医の生活を変える手助けをします。

臨床サービス:

- 臨床プログラムロードマップ
- 臨床デザインワークショップ
- 遠隔看護アセスメント
- スタッフトレーニング & バーチャルベストプラクティス
- 変更管理戦略

技術サービス:

- ネットワークおよびセキュリティ・アセスメント
- 無線アセスメント
- ワークステーション設計
- ルーム準備アセスメント
- 技術トレーニング



Caregilityを選ぶ理由

- 分散した拠点で、孤立化している複数の健康管理ソリューションを管理サポートする必要がなくなります。
- クラウドベースのアーキテクチャにより、セキュリティ、パフォーマンス、メンテナンスの負担が軽減されます。
- 冗長性とフェイルオーバー機能を備えた99.5%の可用性により、サービスが常に稼働していることを保証しています。
- 職場内、ハイブリッド、アウトソーシングの各スタッフモデルに適応し、権限ベースのプログラムアクセスが可能になります。
- 価格モデルにはサブスクリプションベースのオプションがあり、初期投資を抑えることが可能です。

現在、当社は世界中の1,100以上の病院と協力し、患者の安全性、臨床効率、収益を改善する共同ケアソリューションを開発、実装しています。ネットワーク評価、臨床設計から稼働後の最適化まで、私たちはお客様の成功を確実にするため、あらゆる段階でサポートします。

私たちは、米国退役軍人省および米国国防総省のための高度急性期医療のユースケースで努力を重ねてきました。Caregilityクラウドは、HIPAA、GDPR、およびCCPAに準拠し、ISOおよびSOCの認定を受けており、患者データの機密性、完全性、および可用性を保護しています。また、拡張性についても実績があるため、長期的にお付き合いできるベンダーとして協業させていただきます。



正規販売店:株式会社メディアプラス
<https://www.mediaplus.co.jp/>